

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月 6日更新

事務事業名	母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	三苫 幸喜
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	植田 恵
施策の柱	56	子育ての経済的負担の軽減			所属班	子ども保育班	(内線)	2314	
予算科目	会計一般	3	2	1	10553	母子及び父子並びに寡婦福祉法 要綱		成果優先度評価結果	⑩
	根拠法令								コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	母子・父子・寡婦家庭の生活の安定、経済的自立の支援と児童の福祉の向上を図るため各種の資金を貸し付ける。事業主体は、熊本県の実施事業である。資金の中で多く申請されているのは修学資金、就学支度資金である。その他の資金には技能習得資金、修業資金、就職支度資金、生活資金、転宅資金、医療介護資金、住宅資金などがある。熊本県は母子及び寡婦福祉法及び同法施行令に定めがあるもののほか、同法第10条第1項に掲げる資金の貸付けに関し必要な事項を定めこの事業を実施するための要項を平成4年4月1日に施行している。市町村は受付・進達業務を行うことになっている。貸付資金の申請者は微増している。最近では修学資金、就学支度資金の申請をする場合、修学する当人(子ども)の名前で申請し、その母が連帯借主となって申請している。当人(子ども)が学校を卒業後、指定の方法・期間で償還していくことになる。平成26年10月より貸付対象が父子家庭に拡大された。
【業務の流れ】	母子父子寡婦福祉資金の内容について相談を受け、要件に該当する相談者の場合は、県の実施事業のため熊本県菊池福祉事務所に直接電話の上、相談に向かうよう伝える。貸付申請書提出の場合は本市を通してからになり、本市の意見書を添付して県へ進達することになっている。事務の流れは次のとおりとなる。①母子・寡婦家庭から相談 ②県福祉事務所へ連絡 ③福祉資金の貸付申請書等受付、審査 ④調査意見書の作成 ⑤貸付申請書及び添付書類を県福祉事務所へ進達
【主な予算費目】	事業予算なし(県予算のため)
【意見や要望】	県主催の女性福祉相談員等研修会での母子父子寡婦福祉資金貸付業務を担当している職員の説明では、貸付金の償還において未収金(約3,700万円)が発生しており、民間業者への委託を考えている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
母子父子寡婦福祉資金の内容について相談を受け、熊本県菊池福祉事務所担当者 と連携のもと対応した。相談1件、本年度に貸付資金申請を行った者は1名である。	前年度と同様。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア: 母子父子寡婦福祉資金貸付資金申請件数	事業予算なし(県予算のため)
イ: 相談受付件数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
母子・父子・寡婦家庭	ア: 貸付資金対象者数
	イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
母子・父子・寡婦家庭の生活の安定と自立促進ができる。	ア: 相談件数と貸付資金申請者の割合
	イ: %
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア 件		2	1	5	1	5	5	5	5
	イ 件		4	4	7	1	7	7	7	7
② 対象指標	ア 人		758	758	770	758	785	800	815	830
	イ 人									
③ 成果指標	ア %		50	25	71	100	71	71	71	71
	イ %									
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	2	5	3	5	5	5
		延べ業務時間	時間	23	15	80	115	80	80	80
(B) 人件費計	千円	91	59	318	426	318	318	318		
トータルコスト(A)+(B)	千円	91	59	318	426	318	318	318		

